

梅雨時の雨に打たれ、緑が日に日に濃くなっていきます。
足元が滑りやすくなっていますので、外出の際は身支度をきちんとして
転倒を予防しましょう。

認知症サポーターになりましょう
～ 知っていますか？オレンジリング ～

認知症は我が国の最重要課題です

尊厳をもって最期まで自分らしくありたい。これは誰もが望むことですが、この願いを
はばみ、深刻な問題になっているのが「認知症」です。いまや老後の最大の不安となり、
超高齢社会を迎えようとする日本にとって最重要課題の一つとなっています。

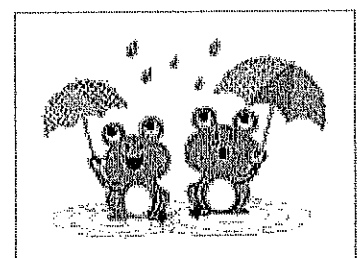
ひと事ではありません

認知症はだれにでも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上では4人に1人にその
症状があると言われていています。認知症の人が記憶障害や認知障害から不安に陥り、その結果
まわりの人との関係が損なわれることもしばしば見られ、家族が疲れ切って共倒れしてしま
うことも少なくありません。しかし、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくこ
とは可能です。

まずは正しい知識をもつことから

誰もが認知症についての正しい知識をもち、認知症の人や家族を支える手だてを知ってい
れば「尊厳ある暮らし」をみんなで守ることができます。

(引用および参考 認知症サポーター養成講座標準教材
「認知症を学び地域で支えよう」地域ケア政策ネットワーク 発行)



続きは裏面へ



認知症サポーターとは・・・

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。認知症の人やその家族の「応援者」です。認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の人や家族に対し温かい目で見守ることがスタートです。

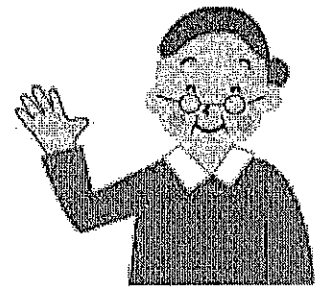
「認知症サポーターキャラバンメイト」と呼ばれているメンバーが「認知症サポーター養成講座」を行い、それを受講された方が「認知症サポーター」となります。

認知症サポーター養成講座について

「認知症サポーター養成講座」は、地域の自治会や老人クラブ、小学校、銀行や郵便局といった金融機関や公共交通機関、サービス付高齢者住宅、スーパー等々の会社や事業所といった様々な場所で実施されています。

内容は「認知症の症状とその支援方法について・認知症の診断や治療について・認知症の予防について 他」です。

時間は1時間程度、講義形式で実施しています。



オレンジリングは認知症サポーターの証

認知症サポーターには「認知症の人を応援します」という意思を示す「目印」であるオレンジリングが渡されます。

まちの中で「この人は認知症かな」と思って声をかけるときにも、オレンジリングを身につけていることで、周囲にも「あの人は、認知症の人のお手伝いをしているんだな」と一目でわかる場合があります。

あなたも認知症サポーターとして・・・

昭島市では、「認知症サポーター養成講座」を展開しており、平成26年度末までに3198名の認知症サポーターが誕生しています。

これからも認知症サポーターを増やし、認知症の人や家族を見守る、安心して暮らせる町を、みんなで作っていきましょう。

認知症サポーターに関する
お問い合わせやお申込みは・・・

昭島市介護福祉課高齢サービス係 TEL 544-5111 (内線 2172・2173)

または 各地域の包括支援センターへ